

行財政構造改革・実行計画 平成20年度進行管理票 (平成20年4月現在)

Plan! 行財政構造改革・実行計画		
No.	改革項目(名称)	担当課
101	小・中学校の適正配置等	教育施策推進担当 電話 604
実施内容		
教育環境の充実のため小・中学校の適正配置を検討するとともに、平成20年度に小学校の通学区見直しを実施する。		
位置づけ	大綱	基本目標4 行政運営システムの改革の推進
	実行計画	4-(6) 各種業務等の改善

■特記事項(実施内容の変化など)

特になし。
-------

■進行スケジュール

	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
当初計画スケジュール	○	○	○	▲	→					
H19改訂スケジュール	▲	▲	▲	▲	→	→	→	→	→	→

【凡例】

- 実施
  - ①当初の改革内容の全体を実施した段階
  - ②改革による新たな制度やサービスが本格稼働する段階
- ▲ 一部実施
  - ①当初の改革内容の一部を実施した段階
  - ②委員会設置や条例制定など実施に向けた具体的な取組みに着手した段階
- 調査検討：内部的な調査・検討
- 継続：前年度の段階を継続しながら、さらに充実を図る
- 取組停止
  - 当初の実施内容と異なる方向に推移し、現行項目に適合しなくなったもの

Plan! 改革の取組み予定		
年度		マーク
▼平成19年度における取組み予定		
17	①通学審議会で適正規模について審議 ②適正規模から外れる小学校の保護者・地域住民に対する説明会の実施	○
18	①小中学校通学区審議会で小学校の具体的な適正配置について審議 ②保護者・地域住民に対する具体的な配置計画の説明会の実施	○
19	①北広島団地内小学校の新たな適正配置の考え方を決定 ②保護者・地域の方々の理解を得るため説明会を実施	↓
20	今後のスケジュールを策定していく	↓
21	同上	↓
22		
23		
24		
25		
26		

Do! 改革の取組み		
年度		マーク
▼平成19年度までの取組み結果		
17	①審議会を4回開催し、小学校の適正規模については12学級から24学級を基本とするとの答申がなされた。 ②適正規模に満たない北広島団地内4小学校の保護者・地域住民に対する説明会を8回実施。	▲
18	①審議会を6回開催し、小学校の適正配置については北広島団地内の4小学校を、広葉小と若葉小、高台小と緑陽小を統合し2校とするのが望ましいとの答申がなされた。(3項目の附帯意見が付された) ②教育委員会として適正規模・適正配置に審議会の答申を尊重することとし、統合後に新たに使用する校を選定していくための検討項目を含め基本方針を決定した。	▲
19	①北広島団地内小学校の新たな適正配置の考え方を決定 ②保護者・地域の方々の理解を得るため説明会を実施	▲
▼評価・改善を踏まえた取組み予定(plan!)		
20	①保護者・地域の方々の理解を得るため説明会を実施 ②今後のスケジュールを検討していく	▲
21	今後のスケジュールを検討していく	↓
22	同上	↓
23		↓
24		↓
25		↓
26		↓

Check! 19年度の取組みへの評価	
①北広島団地内小学校の新たな適正配置の考え方を決定 (北広島団地内の4小学校の適正配置については、児童数だけではなく通学距離や児童に掛かる負担などを考え、広葉小学校と若葉小学校、高台小学校と緑陽小学校を統合し2校とする。統合後に使用する校舎は若葉小学校と高台小学校が望ましい。 ②保護者・地域の方々の理解を得るため説明会を実施 (3回24会場で説明会を実施し、477名の参加者があった。)	
統合に対する理解が得られていない地域もあり、今後も、理解を得るために説明会を実施していく必要がある。 なお、説明会の開催方法については要検討。	
Action! 評価を踏まえ改善する内容	
統合に対する理解が得られていない地域もあり、理解を得るために、今後はより細かく説明会を実施していく。	